

第2回 東京湾・相模湾の港湾における地震・津波対策検討会議 議事概要

日時：平成23年11月7日（月）15：00～17：00

場所：弘済会館

○今回は、基本方針の骨子案や津波想定のためのシミュレーションの考え方について、事務局からの説明をもとに意見交換を行うとともに、地震・津波対策に関する課題及び対応策について議論を行った。

○各委員からは、以下のような議論があった。

- ・防護ラインの設定について、多重防護の考え方を都市部に導入するのは難しいと思われる。首都圏においては、重要構造物やタンクなどの拠点をどのように守るかという視点を持って整理した方が良いのではないか。
- ・L2津波に対しては人命をあらゆる手段を講じても守ると宣言しているが、ゼロメートル地帯に150万人が住む東京湾エリアでは、L2津波を構造物で守るという議論も必要になってくる可能性がある。
- ・本検討において一番重要なのは、L2津波が発生したらどのようなことが起こるのかということ、概略でも把握することが必要と考えており、本会議の中で明確に提示して欲しい。

○本日の会議を踏まえ、東京湾・相模湾の地震・津波に係る課題・対応策の整理を行うとともに、地震・津波対策の基本方針の策定に向け検討を進めていく予定。